

1日目 6月29日(土曜日) 自由研究発表

		10:00→10:30	10:30→11:00	11:00→11:30	11:30→12:00	14:00
分科会1	S52教室	司会：山西俊二(元早稲田大学)、中澤純一(東京未来大学)	企業と連携して行う国際理解教育の一試案	博学連携による構成主義的学習の意義と課題	未来洞察ワークショップを組み込んだ共創する初等社会科授業の開発	渡部淳のドラマ技法は何を目指しているのか? - 「自立的学習者=自律的市民」を育成するための方法として-
		古野美香(帝京大学小学校)、柄澤周(帝京大学小学校)、山口真緒(タイガーモブ株式会社)	津山直樹(創価大学)、高野慎太郎(自由学園高等部)	澁谷友和(奈良教育大学)	廖穎彤(日本大学大学院)	
分科会2	S53教室	司会：吉村雅仁(奈良教育大学)、石森広美(北海道教育大学)	グローバル意識の涵養を目指した小学校英語授業の構想と試行的実践	Transnational Korean - Japanese Textbook Dialogues: Focusing on Gender Narratives in Korean, Japanese, and Korean Textbooks	一人ひとりの複言語能力を育むための外国語教育 - 感性と多面的思考 -	書道を利用した複言語教育実践の試み
		石森広美(北海道教育大学)、佐々木果音(多賀城市立多賀城小学校)、和田万葉(仙台市立大和小学校)	Park, Hanna (Master student, Seoul National University of Education)	杉本孝美(桃山学院教育大学)、山川智子(文教大学)、中井精一(大阪教育大学)	吉村雅仁(奈良教育大学)、ドコヴァ・ヨアンナ(奈良教育大学大学院)	
分科会3	S54教室	司会：横田和子(日本映画大学)、由井一成(早稲田大学)	カナダのグローバル・シティズンシップ教育と先住民族 - 政府機関と教育者の動向を中心に -	グローバル・シティズンシップを育む学習活動の構造 - 実践を可能にするための学習目標の設定 -	Analyzing the Discourse of Artificial Intelligence in Korean Social Studies Education through the Lens of Global Citizenship Education	Transnational Korean - Japanese Textbook Dialogue: Focusing on global citizenship education
		由井一成(早稲田大学)	池田花笑子(大阪市立中之島小一貫校/中之島小学校)	Jho, Daehoon (Sungshin Women's University)	Ban, sunhee, Kim, Yumin, Kwon, Daseul (Master student, Yonsei University)	
分科会4	S59教室	司会：森田真樹(立命館大学)、岩坂泰子(同志社女子大学)	グローバル意識を育てる低学年の教材開発 - PBL学習の基盤作りとして -	絵本を通して多文化理解 - ステレオタイプ形成に陥らないための留意点の検討 -	英語における戦争の扱い	英語に苦手意識を持つ高校生の意識変容プロセス - 東南アジアの高校生との「にほんご」による研修を通して-
		土屋京子(千葉市立有吉小学校)	小野寺美奈(東洋大学)、當銘美菜(目白大学)	高松美紀(東京学芸大学附属国際中等教育学校)	中尾有城(国際交流基金関西国際センター)	
分科会5	S510教室	司会：藤原孝章(元同志社女子大学)、山本勝治(開智国際大学)	生活科教科書分析から考察する小学校低学年における多文化共生教育の可能性と課題	多文化社会におけるホリスティックコミュニケーションの意義 - 国際共修における授業実践の分析から -	外国人のための日本語教育における「子ども向け新聞」活用と展望	高等学校「探究ゼミ」におけるGCED実践 - フィリピンのコーヒー農園を題材として -
		山田文乃(立命館大学/兵庫教育大学大学院連合)	菊地恵美子(東北大学)	高橋宏輔(朝日学生新聞社)、藤原孝章(元同志社女子大学)	岸本直子(真面目自由学園高等学校、大阪大学大学院人間科学研究科)	
分科会6	S512教室	司会：永田佳之(聖心女子大学)、阿部裕子(東京福祉大学)	「国際理解教育」はどう評価されてきたのか - ユネスコ国際教育動向のモニタリング調査から -	韓国のユネスコ石座(Chairs)およびユニツイン(UNITWIN)ネットワーク事業の現状と課題	不確実性の時代における若者の「競争」体験 - アウシュビッツ・テレジン・ユネスコへのスタディツアーを事例に -	国際理解の資質・能力の育成の観点からみた高等学校の海外研修 - SGHとユネスコスクール双方に指定された学校に着目して -
		阿部裕子(東京福祉大学)	Kim, Jong - Hun (Office of Planning and Administration, APCEIU), Kim, Da - Won (Gwangju National University of Education), Kim, Sunmi (Chung - Ang University)	永田佳之(聖心女子大学)	藤井三和子(兵庫県立神戸商業高等学校、兵庫教育大学大学院)	
分科会7	S513教室	司会：石川一喜(拓殖大学)、荒川裕紀(明石工業高等専門学校)	中学校社会科におけるSDGs目標間の相互関連性に着目した学習活動 - 実践から見た課題と可能性 -	スモールスクールから世界を覗く - ポストSDGsの学校教育のあり方(試案) -	葛藤の表現としてのレゴ®リアスプレイ®	祭祀・宗教の教材化に関する一考察
		菊池徹(横須賀市立久里浜中学校)	石川一喜(拓殖大学)	梶広大(広島大学大学院)	荒川裕紀(明石工業高等専門学校)	
分科会8	S514教室	司会：川口広美(広島大学)、青木香代子(茨城大学)	社会正義のための教育実践としてのエスニック・スタディーズの可能性	エスニック・スタディーズと子供の人権を大切に教育(発表キャンセル)	2023OECD報告書から見た外国人児童生徒教育の課題と可能性 - 公正と包摂を起点とする教育へ向けて -	イングランドにおける教師の多様性の保障に向けた取り組み
		青木香代子(茨城大学)	田中淳子(University of San Francisco)	福山文字(専修大学)	菊池かおり(筑波大学)、川口広美(広島大学)	

**シンポジウム**  
**6月29日(土)**  
**14:00 - 16:30 地下1階S011**

国際理解教育と博物館・万博 - 異文化を展示・教材化する -  
 趣旨説明 中山京子(南京大学)

「アイヌ像をめぐる教材開発研究の視点から」  
 藤原孝章(同志社女子大学名誉教授)

「学習者の見方を広げる異文化理解の教材開発と授業実践」  
 増田有貴(阿賀野市立水原中学校)

「大学博物館は、国際理解教育実践の場所になりえるか? - 総合大学が設置する大学博物館における異文化に関する展示及び教育支援のありかた -」  
 堀越峰之(帝京大学総合博物館)

「万博展示を教材化する - 25大阪・関西万博を素材に -」  
 中牧弘允(吹田市立博物館特別館長、国立民族学博物館名誉教授)